ＴＦＴＦ－２００ＦＤ工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**

平場：ＴＦＴＦ―２００ＦＤ工法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ | ０．１５kg～ |
| ２ | ＤＦ・ＢＢシート | １．０m |
| ３ | 断熱材 | １．２５枚 |
| ４ | 自着シートＭＱＣ  ジョイントテープＴＭ  ＤＦメッシュテープ  エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ　立上り用 | １.０ｍ  ※１  ※１  ※１ |
| ５ | タフレックス  ＋タフマット | １．６㎏  ０．８４ｍ |
| ６ | タフレックス | １．０kg |
| ７ | 各種トップコート（高反射色）※２ | ０.２㎏ |

※１　現場の状況によって異なります。

立上り：ＴＦＭ－２００ＬＦ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ | ０.１５㎏～ |
| ２ | タフレックス  ＋タフマット | １．６㎏  ０．８４ｍ |
| ３ | タフレックス | １.０㎏ |
| ４ | 各種トップコート（高反射色）※２ | ０.２㎏ |

※２トップコートは、ＤＳトップ・ゼロ、ＡＳトップゼロ、フッ素スーパートップ・ゼロ、オートップ・ワン、エクセルトップ、ＳＱトップの高反射色より選択して下さい。

　ただし、オートップ・ワンの塗布量は、０.３㎏／㎡（０.１５㎏×２回塗り）となります。

**使用材料一覧**

| 品名 | | 荷姿・入目 | 配合比 | | 材質 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| プライマーＰＷ－Ｆ | | １２㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：１ | | ２成分形エポキシ樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　６㎏／缶 |
| ＤＦ・ＢＢシート | | １ｍ×２０ｍ／巻 |  | | 粘着ブチル層＋ポリエステル不織布複合シート（両面粘着層付） |
| スタイロフォーム | | ｔ＝２５～５０ｍｍ  ９１０ｍｍ×９１０ｍｍ／枚 | － | | ポリスチレンフォーム  断熱材 |
| 自着シートＭＱＣ | | １ｍ×１５ｍ／巻 |  | | 自着層付ポリエステル不織布系通気緩衝シート |
| ジョイントテープＴＭ | | １００ｍｍ×５０ｍ／巻 | － | | ＰＥＴフィルム付ガラスメッシュテープ |
| ＤＦメッシュテープ | | １００ｍｍ×５０ｍ／巻 | － | | ガラスメッシュテープ |
| エバーコート  Ｚｅｒｏ－１Ｈ　立上り用 | | １８㎏／缶  ８㎏／缶 | １成分形 | | １成分形ウレタン防水材 |
| Ｚｅｒｏ－１Ｈ専用促進剤  Ｃタイプ | | ３．３ｋｇ／ポリ瓶 | １．３～  ２.０％ | | １成分形ウレタン防水材用専用促進剤 |
| タフレックス | | １８㎏／缶 | １成分形 | | １成分形ウレタン防水材 |
| タフマット | | １．２７ｍ×  １０５ｍ／本 | ― | | ガラスチョップドストランドマット |
| ＤＳトップ・ゼロ  （高反射色） | １５㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート（弱溶剤系） | |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　９㎏／缶 |
| ＡＳトップ・ゼロ  （高反射色） | １５㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルシリコン樹脂トップコート（弱溶剤系） | |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　９㎏／缶 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| フッ素スーパートップ・  ゼロ（高反射色） | １０㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形フッ素樹脂トップコート（弱溶剤系） |
| 主　剤　４㎏／缶  硬化剤　６㎏／缶 |
| オートップ・ワン | １５㎏／缶 | １成分形 | １成分形アクリルウレタン樹脂トップコート（水系） |
| エクセルトップ  （高反射色） | １４㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝３：４ | ２成分形ハルスタイプアクリウレタン樹脂トップコート（溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　８㎏／缶 |
| ＳＱトップ  （高反射色） | １５㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート（溶剤系）  速乾タイプ |
| ステンレスベントＮ | ２個／箱 | － | ステンレス製脱気筒 |

**施工の流れ**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 平場面：ＴＦＴＦ－２００ＦＤ | 立上り面：ＴＦＭ－２００ＬＦ | |
|  |  | |
| 下地確認・下地清掃 | | |
|  |  | |
| 養生 | | |
|  |  | |
| プライマーＰＷ－Ｆ塗布 | | |
|  | | |
| ＤＦ・ＢＢシート張り |  |  |
|  |  | |
| 断熱材敷き |  | |
|  |  | |
| 自着シートＭＱＣ張り  シ－トジョイント・端末処理 |  | |
|  |  | |
| ステンレスベントＮ取付け |  | |
|  |  | |
|  | タフレックス  ＋タフマット | |
|  |  | |
| タフレックス  ＋タフマット |  | |
|  |  | |
|  | タフレックス塗布 | |
|  |  | |
| タフレックス塗布 |  | |
|  |  | |
| 各種トップコート（高反射色）塗布 | | |

**施工要領**

平場　ＴＦＴＦ－２００ＦＤ

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ塗布 |
| 下地処理確認・吹付け養生後、良く清掃し、主剤・硬化剤からなるプライマーＰＷ－Ｆを規定の配合で混合攪拌し、ローラー等の工具で０.１５㎏～／㎡を均一に塗布する。 |
| ２ | ＤＦ・ＢＢシート張り |
| ストライプ状に加工された粘着面を下地側にして、離形フィルムをはがして張る。 |
| ３ | 断熱材敷き |
| 断熱材の割付け・加工を行った後、敷き込み部のＤＦ・ＢＢシート離形フィルム（表面側）をはがし、断熱材を隙間無く敷きつめる。  立上り部および役物周りは、突付けで断熱材を敷く。 |
| ４ | 自着シートＭＱＣ張り |
| ストライプ状に加工された粘着面を下地側にし、離形フィルムをはがして張る。  シート端部（入隅部など）に対し突付けにて張る。  自着シートＭＱＣを張付け後、専用転圧ローラーで全面を転圧する。  シートジョイント（長手・短手）にジョイントテープＴＭを張付け転圧する。  シート端末部にＤＦメッシュテープを張付け転圧する。  翌日以降に次工程の作業を行う場合は、ＤＦメッシュテープ及びジョイントテープＴＭ上にウレタン０.４㎏／㎡を段差が出ないように塗布し雨仕舞を行う。 |
| ５ | ステンレスベントＮ取付け（取り付ける場合） |
| 通気緩衝シートに５０㎜×５０㎜程度の大きさを切り取る。脱気筒を仮置きし、予め開けてある下穴の位置にドリルを垂直に当てて穿孔し、その後孔内およびその周辺の切粉を掃除機で確実に除去する。固定用アンカーにワッシャーを通して孔内に差し込み、最後まで確実に打ち込む。付属の補強布等を用いて周囲にウレタン塗膜防水層の補強塗りを施す。 |
| ６ | タフレックス塗布＋タフマット張付け |
| タフマットの下塗りとして、タフレックスをローラーやコテ、刷毛等の工具を用いて０．８㎏／㎡を均一に塗布する。その後、タフマットを重ね幅５０㎜以上ラップさせて、豚毛ローラー等を用いてタフマットに含侵させる。  更にタフレックスをローラーや、刷毛等の工具を用いて０．８㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ７ | タフレックス塗布 |
| タフレックスをローラーや刷毛等の工具を用いて１．０㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ８ | 各種トップコート（高反射色）塗塗布 |
| 主剤・硬化剤からなる各種トップコート（高反射色）を規定の配合で混合攪拌し、ローラーや刷毛等の工具で０.２㎏／㎡を均一にムラ無く塗布する。 |
| ９ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

立上り　ＴＦＭ－２００ＬＦ

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | プライマーＰＷ－Ｆ塗布 |
| 下地処理確認・吹付け養生後、良く清掃し、主剤・硬化剤からなるプライマーＰＷ－Ｆを規定の配合で混合攪拌し、ローラー等の工具で０.１５㎏～／㎡を均一に塗布する。 |
| ２ | タフレックス塗布＋タフマット張付け |
| タフマットの下塗りとして、タフレックスをローラーやコテ、刷毛等の工具を用いて０．８㎏／㎡を均一に塗布する。その後、タフマットを重ね幅５０㎜以上ラップさせて、豚毛ローラー等を用いてタフマットに含侵させる。  更にタフレックスをローラーや、刷毛等の工具を用いて０．８㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ３ | タフレックス塗布 |
| タフレックスをローラーや刷毛等の工具を用いて１．０㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ４ | 各種トップコート（高反射色）塗塗布 |
| 主剤・硬化剤からなる各種トップコート（高反射色）を規定の配合で混合攪拌し、ローラーや刷毛等の工具で０.２㎏／㎡を均一にムラ無く塗布する。 |
| ５ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |